

編集発行人・吉田隆司

毎月1回、1日発行

定価1部100円/1年1000円(送共)

郵便振替 東京00100-0-38184

〒112-0004東京都文京区後楽1-5-3

TEL. 03-3814-3591

FAX. 03-3814-3590

Website...<http://www.rizhong.org/>

E-mail...[info@rizhong.org](mailto:info@rizhong.org)



上海世界博覧会マスコット 海宝

## A先生の新語コーナー



### Shàng Hé Zǔzhī “上合组织”

“上海合作组织”の略。上海協力機構(SCO)。中国、ロシア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタンの6つの加盟国で構成され、2001年6月に正式に発足した。SCO憲章は機構の任務を「地域の平和、安定、信頼の強化」と規定。安全保障、外交、軍事の他、経済文化等も含む総合的な地域協力組織となっており、欧米への対抗軸としての側面を持つ。モンゴル、インド、パキスタン、イランがオブザーバー国として参加している。(A)

# 第18回 (2008年度) 日中学院倉石賞受賞者決定!

この度日中学院倉石賞選考委員会が開かれ、本年度は段躍中氏への授賞が決定しました。



受賞者 **段躍中 氏**

日中交流研究所長

日本僑報社編集長

推薦者 **木下俊彦 氏**

段躍中氏は、来日前からのジャーナリストの経験を生かしつつ、出版事業や作文コンクール、日曜中国語サークルなどを通じて、長期にわたり、日中間の相互理解の促進を行い、日中文化交流並びに中国語の普及に尽くした。

同氏は、「誰もが民間大使」になり文化交流や中国語を習得できるように、日中作文コンクールを実施し、西池袋公園で日曜中国語サークルを行っている。

また、日中関係の公正・中立な分析のために、来日以来17年間で、170冊もの出版を行った。同時にメールマガジンやブログなどインターネットを駆使した無料での広範囲への情報提供を継続している。

今年に入ってからは「日中文化交流の会」・「中国語学習支援センター」を創設した。

上記のような活動を高く評価し今年度の段躍中氏への日中学院倉石賞の授賞を決定しました。

これにともない、下記のとおり授賞式を行います。どなたでも参加できます。ぜひご参加をお願いします。

2008年10月1日 日中学院

### 第18回日中学院倉石賞授賞式

日時：2008年11月15日(土) 16時～17時

場所：日中学院3階教室

内容：受賞者の基調報告等

## 学院長のお落書き（9）

日中学院長 吉田隆司

◇財団法人日中友好会館が本館完成20周年事業として、『日中友好会館20年のあゆみ』を出版、付設の中国人留学生寮後楽寮を巣立った元寮生の記録『後楽寮僚友名簿』作成に着手、またこの20年間の関係者を国内外からお招きし、9月5日には本館完成祝賀会を開催しました。国外からの日中学院関係招待者として、中国人民大学より馬俊傑副校長がおいでになりました。中国人民大学は日中学院本科生短期研修及び長期留学生受け入れ提携大学となっています。日中学院は、馬俊傑副校長歓迎会を9月5日の晩に居酒屋で開きました。中国語が通じ、ノーネクタイで気楽な歓迎会を楽しんでいただきました。



2列目左3番目が馬副校長

日中友好会館の前身は、満州国皇帝溥儀の来日（1935年）記念事業として1938年竣工した「満州国留日学生会館」です。この会館の設立基金は基本的にはいわゆる「満州国」から支出されました。したがって、日本の敗戦後、その財産権は中国に引き渡されるべきものでした。しかし、中

国が「サンフランシスコ条約」の署名国でもなく、講和会議の参加国でもなかったため、財産権が中国にひきわたされることもなく、日本と中国の国交がまたれました。この間、外務省は、財団法人善隣学生会館を設立（1953年）し、その所有権およびその管理をゆだねました。

ここから10年の間に、この寮にすでに住む寮生、在日中国人とこれを排除しようとする善隣学生会館、外務省との間で闘争が続きました。また、1967年には、「日中友好団体」による中国人学生への襲撃事件が起きています。（『中国研究月報』1968年1月号、『中国へ架ける橋Ⅲ』参照）。日中国交回復は1972年によく実現しました。すぐには、会館の引渡しは行われず、1980年、故大平首相、華国鋒主席（8月20日逝去）会談で「日中国交回復十周年」を記念して、日中両国の共同事業として、「日中友好会館」の建設が決まりました。その建設場所として選ばれたのが当時は善隣学生会館、現在は日中友好会館と呼ばれる私たちがいるこの場所です。土地の財産権について、中国側は「棚上げ」、日本側は「触れず」の態度のもと、中国政府が5億円、日本政府が20億円を拠出し、残りは寄付金（日中学院も、藤堂学院長の所蔵品の販売、寄付金とで約5000万円を集める）と借金で100億円規模での建設がはじまりました。日中友好会館本館が完成したのは、1988年です。

1938年の「満州国留日学生会館」の竣工時から今日まで70年です。偽満州国の建設、日本の敗戦、国交未回復、日中国交正常化と日中友好会館完成から今日まで70年間、一貫してここには留学生の寮（後楽寮）があり、常にその寮に住む中国人寮生が見ていたのが、日中友好会館、日中間の歴史です。日中友好会館の歴史を記すとき、1988年以前の50年間の歴史を加え繋ぐことで、「過去の歴史を教訓」とした未来思考のものになるのではないのでしょうか。

## 《我是医生，我很寂寞》(2)

作者：欧阳林

下午的门诊，工作一成不变，一如病人的问题一样，每当我问她：“小姐，你哪里不舒服”时，她总是喜欢反问我：“医生，你今年结婚了没有？”当然，我“今年”还没结婚！去年和前年就知道了！

和病人之间，疾病和药品才是正题，日子是永不歇止的日出而作，日落而息。

下班时，我从医院大门走出来，右转一直走到底，撞墙，再右转，数第三根电线杆，转身，认出了正对面这一座大厦，就是我住的地方。搭电梯上六楼，开门，回到家里，身体有点疲倦。人说开门七件事，第一件事就是开电视。开电视这行为，据说是现代人寂寞的表现，因为现代人无法排解心中的寂寞，回到家里，渴望听到声音，于是会开着电视，做自己的事情。

我打开电视，打开电灯，打开冰箱，打开冷气，凡家里可以开的东西，我都没有放弃。当然，我一定会打开电脑，收 E-mail，看看是不是有人给我写信。

我的信箱，大部分时候都没有信，偶尔我的 Outlook 会“叮当”地叫一声，表示有信进来了，原本要走进浴室的我，这时会兴奋地回过头来，看是谁写来的，结果，发现是一封广告信，说买美凤姐用过的那种意大利快锅，一组三个特价三万块，如今只需外加一千块，就可以加送一个小锅，总共三万一千元，买四个锅，这是多么天大的好消息啊！

我没买，但很高兴！

我家的电话，装上了来电显示，我洗完澡，在电话机上一下一下地往前按，没看到有未接的来电。当真不能理解，像我这种伟人，人不在家，为什么就不会有人找我？我真的这么不重要吗？

## Dr. ロンリー (2)

小酒真由子同学訳/徳久圭講師指導

その後、午後の診察も判で押したように進む。患者の質問も全く同じだ。「今日はどうしましたか？」と女性患者に尋ねると、逆に質問で返される。「先生、今年は結婚まだなの？」確かに、僕は「今年」まだ結婚していない。昨年、一昨年は……なんて聞かないでくれ！

本来、患者とは病気や薬の話をするべきなのに。単調な僕の毎日。同じ事の繰り返しで時間が過ぎていく。

仕事が終わると、僕は病院の正面玄関を出て右へ直進、突き当たりで右折して3本目の電柱まで歩く。そして、正面に見えるマンションへと足を向ける。そう、家に帰るのだ。6階までエレベーターで上がって帰宅する頃には、僕もさすがにちょっと疲れている。そういえば、現代人には「帰宅後の7つの習慣」というものがあるらしい。その第1条は「テレビをつける」ことだという。これはさみしさを感じていることを示す行動だ。さみしさに耐えきれない現代人は、家に帰っても人の声が恋しくなって、何をするにもテレビをつけっぱなしにしてしまう。

僕の場合は、テレビの電源を入れたら、明かりをつけ、冷蔵庫を開き、エアコンのスイッチを入れる。家中の電化製品を手当たり次第だ。もちろん、必ずパソコンも開いて、新着メールがあるかどうかをチェックする。

受信箱をのぞいても、メールが届いていることはまずない。だから、時々「ピンポン」という受信音でメールの到着に気づいたときは、風呂に入る途中だろうが何だろうが、ワクワクしながら飛んでいって内容を確認してしまう。しかし、僕に届くのは広告メールだ——主婦のカリスマ、メイフォンさんが愛用するイタリア製圧力鍋。内鍋2個つきのセットが特別価格3万円！ 今だけプラス千円で内鍋をさらに1個おつけします。これだけ揃えて計3万1千元はビックリ価格のお買い得！

遠慮しとこう。でも、メールありがと。

自宅の電話は着信履歴が残るようになっている。ひと風呂浴びた後は、その履歴をひとつずつさかのぼって着信を確認してみる。だが、不在着信の記録があった試しはない。全くおかしなもんだ。僕のような立派な男に、留守中誰からも電話が来ないなんて。僕はそんなに必要とされていない人間なのだろうか。

我家的电话，其实一个星期才响一次，那是多么美妙的电话铃声，清脆得像玩具一样，我兴奋地接起时，对方常问我：“请问林志雄在吗？”虽然菜市场上到处都是林志雄，但是在我家真的找不到林志雄啊！我于是想，这一个林志雄，会不会是之前使用我这一个电话号码的人，因为没缴费，电话被切断了，没有通知亲朋好友，所以，到我用这电话时，大家仍锲而不舍地打这电话来找他？

我只能回答说没有。对方不知听见没有，就要挂断。我真想抢着说：“别急嘛，我们聊聊！”皇天不负苦心人，有一次，我真的就和一个要找林志雄的人聊了起来，这一聊就是十分钟！聊完时，还互相道说：“拜拜，我们再联络！”多么美好的回忆！

家住六楼，不高不低，虽然有纱窗，但晚上睡觉前，仍需检查房里是否有漏网的蚊子。若发现蚊子，我会喷杀虫剂，喷时想起护士来弟说，她睡前若发现房里有蚊子，从不使用杀虫剂，因为她老公怕杀虫剂的味道。于是乎，她睡时，会将大腿从棉被中伸出来喂蚊子，让老公一觉睡到天明。多么伟大的妻子啊！新版的二十四孝中，她一人该独得三孝！

我身边没有愿意伸出来的大腿，我的大腿只要一伸出棉被，第二天毫无例外地就会变红豆冰，于是，这一觉总是睡得不安稳，一夜拍打声，不知死多少蚊子。

而睡觉时，因为没有人暖被，寒流来袭时，我一个人，需要盖三条被——两件棉被，再加一件毯子。我的睡姿不好，三条被常被我踢到剩一条，如此踢到凌晨，我会被冷醒；我是忧郁王子，冷醒时会触景伤情，想起了许多前尘往事，有时还会唱一些悲伤的歌曲。我唱什么歌呢？

——新的棉花新的布，妈妈给我缝衣服，棉衣穿在我身上，妈妈脸上笑嘻嘻……

我是哪个时代的人啊！怎么还记得这么久远的儿歌！

实际、自宅の電話は週に1回鳴ればいいほうだ。何ともいえないステキな音色の着信音が高らかに響きわたると、僕は胸を躍らせて受話器を取り上げる。だが、いつでも相手のセリフはこうだ。「リン・ズーションさん、いらっしゃいますか？」市場にでも行けば、リン・ズーションなんて男は掃いて捨てるほどいるかもしれない。でも、何度聞かれたってうちにはいないぞ！僕の推理では、リン・ズーションとは以前この電話番号を使っていた人物だ。彼は料金滞納で電話を止められたが、そのことを友人たちに知らせなかった。だから、僕の番号になった後も、あきらめの悪い人たちが何度でも電話してくる。

いずれにせよ、僕は「いません」と答えるしかない。その言葉も言い終わらないうちに相手は電話を切ろうとする。こちらは「待って！ お話でも……」と引き止めるつもりでいるのに。「天は自ら助くる者を助く」とはよく言ったもので、1回だけリン・ズーションにかけてきた相手とおしゃべりできたことがある。なんと10分も会話したのだ。お互い「じゃあ、またね！」と言って電話を切った。まあ、それも今では過去の美しい思い出でしかない。

6階というのは、どうも中途半端な高さだ。実際、窓に網戸があるからといって油断は禁物。部屋に迷い込んできた蚊がいないかどうか、寝る前に必ずチェックしなければならない。ヤツらを見つけたら殺虫剤をお見舞いしてやるのだ。そんな時、ふとライディの話思い出す。彼女曰く、寝る前に部屋で蚊を見つけても決して殺虫剤を使わない。ダンナがにおいを嫌がるからだ。では、どうするかというと、ライディは寝る時にわざわざ布団から脚を出す。ヤツらに自分の脚を差し出せば、ダンナのほうは何事もなく朝までぐっすり眠れるというわけだ。なんとまあ、よくできた奥さんなんだろう。中国には古来より伝わる孝行者24人を記録した書物があるが、現代版を作るとしたら彼女ひとりに3人分の章を割いてもいいぐらいだ。

僕のそばには、代わりに喜んで脚を差し出してくれる人はいない。だから、布団から脚がはみ出てしまったら最後、当然のことながら、翌日はあずきアイスのように赤いブツブツだらけの足になる。こんな夜は寝たくても寝つけない。『春暁』よろしく、「一夜叩き続ける音 蚊落つること知りぬ多少ぞ」といったハメになる。

もちろん、布団を温めてくれる人もいないから、寒波が来ようものなら、独り身の体には綿布団2枚に毛布1枚、計3枚が必要だ。でも、寝相が悪い僕

而莉莉与小郑式的爱恋，果然蕴含了丰富连绵的母爱，我们的护士静香，见我这么怕冷，瞒着老公，帮我买来一件羊毛被。她买来那一天，把我拉到门诊室的最角落，偷偷摸摸神秘地对我说：“小龙龙，我今天给你买了一个东西，这东西，是用新西兰最清纯没有受污染的羊毛做成的，干净，洁白，可以帮助发育，骨骼强壮，增加免疫力。”她说时，我还以为她要送我德森蜜羊奶粉，那是大陆偷渡客来台湾时最想买东西，我想不到结果看到的竟是一条羊毛被。她说，这羊毛被超级温暖，当她老公出差时，即使只有她一个人盖，也会热到出汗，原价四千元，特价两千六，而我只需还她三千元就可以了！

我兴奋地将被拿回家，第二天凌晨时，我还是被冷醒。即使后来，她又去帮我买了一件羽毛被，说是用最上等的鹅毛做成的，可以帮助发育，骨骼强壮，增加免疫力，但结果仍是一样。一个晚上盖三条被的习惯，一时之间无法更改，因为寒冷是心里面发出来的，要温暖我的人，需要先温暖我的心。

所以，你一定要相信我，我是医生，我也很忙，但是，我的心里充满了彻骨的冰寒，我的寂寞多到可以杀死一只猫，我的寂寞不能自己。

(完)

## 別科翻訳班受講生募集

- ・開講日 毎週 水曜日
- ・指導講師 徳久 圭

インターネットを利用しつつ、少人数で厳しく、楽しい授業をおこなっています。

は布団を蹴ってしまうので、3枚あったはずが1枚になっていることもしょっちゅうだ。それで明け方には寒さで目が覚める。僕は「憂鬱王子」だから、そんなときにはつい感傷的な気分ひたってしまう。昔のこつをつらつらと思い起こしたり、ひどいときには悲しげな歌を口ずさんだり……。ん？ どんな歌かって？

ふわふわの綿に 新しい布で  
ママがボクに ぬってくれたよ  
ボクの体に ぴったりのほんてん  
ママがニッコリ 笑顔になった……

我ながらひどくオッサンくさい。こんなはるか昔の童謡をいまだに覚えているなんて！

年下男との恋愛に興味津々のシズカは、案の定、深く一途な母性愛も持ち合わせているようだ。僕が寒がりなのを察して、ダンナの目をごまかして羊毛布団を買ってきてくれた。その日、彼女は僕を診察室の隅に引っ張っていくと、コソコソと思わせぶりにささやいた。「ロンちゃん、今日あなたにいいもの買ってきてあげたから。これはね、ニュージーランドのね、ピュア・オーガニックの羊から作られたものなの。清潔で純度100%、発育を助け、骨を強くし、免疫力も高めてくれるのよ」

その言葉を聞いて僕は、羊乳の粉ミルクをくれるのかと思ってしまった。中国大陸からわざわざ密航者が買いにくるというCMで有名なあの商品だ。まさか羊毛布団が出てくるなんて……。シズカはこう続けた——これは最高に温かいわよ。ダンナが出張で留守の時、この布団ならひとり寝ても汗をかくほどなの。定価4千円のところ特価2千6百元で買ったから、3千円だけ払ってくれればいいわ。

僕は喜んで布団を家に持ち帰ったが、翌朝やっぱり寒さで目が覚めた。すると、次にシズカは羽毛布団を買ってきてくれた——最高級のガチョウの羽毛から作られたものなの。清潔で純度100%、発育を助け、骨を強くし、免疫力も高めてくれるのよ……。でも、結果は同じだった。3枚かけないと眠れない僕の習慣は、にわかには変えられないようだ。というのも、寒いのは僕の心が冷えきっているせいだから。僕のことを温めてくれるというなら、まず先に僕の心を温めてもらいたいのだ。

だから、どうか信じてほしい。僕は医者だ。忙しくしてはいるが、心は骨の髄までしみいるような寒さに凍えている。人からあきれられてしまいそうなほど、さみしぼうの僕。

けれど、自分ではどうしようもない。 (終)

# 本科短期留学報告

本科2年生の中国での短期研修は、6月28日～8月3日の間、中国人民大学で実施されました。引率は、前半は早瀬信弘事務局員、後半は生敏老師が担当し、16名の同学が参加しました。このたび、その報告集ができあがりました。その中から1編をご紹介します。

## 北京短期留学

2A 市原寿子

今回の北京が私にとって初中国、初海外だった。5週間も海外で、他人と共同生活が出来るのか。部屋が汚いだとか、シャワーの出が悪いだとか、お金を盗られないように気をつけろだとか聞くけれど、大丈夫だろうか。・・・行く前ははっきり言って不安しかなかった。

実際の北京生活は思った以上に快適だった。まず部屋は、例年と違い専業楼(教授用の部屋)がとれたので綺麗だった。幸い、食べ物にもあたることはなかった。中国料理は油っこいものが多いが、おいしい。少量でお腹一杯にもなるし、何より安いので感動する。

思った以上に大変だったのは大学での授業だ。先生のくり出す超高速漢語に初日から撃沈。日中学院の先生方日頃、いかに加減してくれていたかが身に染みだ。

授業は午前中だけ。午後は自由時間。ときどき課外活動があり、万里の長城や故宮に行ったり、カンフーを見に行った。名所はほとんど皇帝が造らせたもの。皇帝は高いところがお好きだから、否が応にも階段がついてまわる。日中の一番暑いときに延々階段を上り下りするのは辛かった。けれど、上りきった時の達成感と眺めは最高。

留学の後半は、生老師がいろいろな所につれていってくれた。王府井、天壇公園、西単、北京動物園、秀水、・・・等々。学校の用事や、体調を崩した人の世話などで忙しかっただろうに、それでも二日に一遍ぐらいのペースで案内してくれた。生老師には本当に感謝、感謝だ。

夜には気が向いたときに2、3回女子だけで飲み会をした。中国のお酒は、日本のよりも薄くて甘い。パイナップル味のビールなんてものもあった。

お菓子も少し変わっていて、きゅうり味、ブルーベリー味のポテチはみんなのお気に入りだ。

中国語ばかりの生活は逃げ出したい時もあった。日本に帰りたいと何度も思った。けれど、人民大学の張老師が「君は一番幼いから、ホームシックになっていないか?」と訊いてくるたびに、「なにくそっ! 中国でもやっていけるんじゃない!」と思っていた。別に張老師は私をからかったわけではない。ただ純粹に心配してくれたのだ。が、性格の曲がった私は、何度も同じ質問をしてくる老師の言葉を勝手に解釈し、勝手に怒って、勝手に頑張ろうと決意した。そのおかげで、5週間なんとか休まずに授業ができた。張老師、ありがとう。

基本的に中国人はやさしい。道が分からなくて、地図を広げて困っていると「どこに行きたいの」とあちらさんから聞いてくれる。一見怖そうで怒鳴っているように聞こえた人は、実は声がかいだけで親切に説明してくれていた。中国人は拜金主義化と思っていたけど、「注文しなくてもいいです。この店を知ってもらえば」と店の軽い紹介をして去っていく店員もいた。

中国ではいろいろ愚痴もこぼしていたはずなのに、今、留学を振り返って見ると、思い出すのは楽しい事ばかりだ。ハプニングも笑い話になっている。老師、同学、留学中はぶうぶう言ってごめんなさい。それと本当にありがとう。



鳥の巣にて

# 別科朗読大会



2008年度別科朗読大会が、10月4日に開かれました。当日の発表は22組(個人・グループ)が初級、中級、上級、応用の4ランクに分かれて発表が行われました。

## ◇ 初級の部

1. 昼間週2初級後期 《四季的脚步》
2. 土曜コミュニケーションⅠ11月班 《枫桥夜泊》
3. 夜間水曜コミュニケーションⅠ10月班 《四季的脚步》
4. 土曜コミュニケーションⅠ午後班 《不能给衬衫》
5. 夜間週2初級 《四季的脚步》

## ◇ 中級の部

6. 早朝会話班 《书韵》
7. 昼間週2中級後期班 《秋叶飘飘》
8. 土曜コミュニケーションⅢ午前班 《学汉语》
9. 夜間週3D班 田中英徳同学 《拔苗助长》
10. 土曜コミュニケーションⅡ4時班 《金钱和正义》
11. 土曜コミュニケーションⅡ午前班 《书韵》
12. 土曜コミュニケーションⅡ午後班 《秋叶飘飘》

## ◇ 上級の部

13. 昼間初級会話 《父子赶驴》
  14. 夜間週3F班 《苏轼的留言》
  15. 昼間応用後期杉井知世 《十二生肖的故事》
  16. 午前ステップアップ 《我什么时候生的你》
  17. 午後ステップアップ火曜班 《父子赶驴》
  18. 昼間基礎まとめ 《十二生肖的故事》
  19. 夜間ステップアップ 《我什么时候生的你》
- ## ◇ 応用の部
20. 夜間実践作文 《紙船》
  21. 土曜会話Ⅳ 《从岩缝里长出来的小草》
  22. 土曜会話Ⅲ西山英二同学 《不要给自己喝咸水》

◇ 模範朗読：張秦雲・安海生 講師

◇ ゲスト：佐藤美津子同学(本科)《北京的四季》  
許天佑同学(日本語科)《町の変化》

## 中国語1日集中講座 (全コース共通・1日4時間コース)



・ 日時 2008年11月9日(日) 10:00~15時(昼休み1時間)

授業料：6,000円

- 中国語入門コース 担当：小池敏明
- 発音復習コース 担当：木野井美紗子
- 会話(中級)コース 担当：張竹翠
- HSK 対策コース 担当：高木美鳥
- 中国語検定コース(3級対策)  
担当：花岡風子
- 文法復習コース(補語のまとめ)  
担当：田禾

### お申込み方法

- ① 直接窓口にてお申込み
- ② 電話でご予約、後日お振込み
- ③ インターネットでご予約、後日お振込み

〒112-0004  
東京都文京区後楽1-5-3  
電話：03-3814-3591  
FAX：03-3814-3590  
HP:www.rizhong.org  
メールアドレス：info@rizhong.org

日中学院

# 11月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
						1
2 ●本科推薦 ●OA入試	3 ●文化の日 授業休み	4	5 ●本科2009年度生 一次募集受付開始	6	7	8
9 ●一日集中講座	10	11	12	13 ●運営委員会	14	15 ●倉石賞授賞式
16	17	18	19	20	21 ●日本語科 バスハイク箱根	22
23/30 (23日) ●中国語検定試験	24 ※注意 ●授業日(別科) 事務取扱い平常	25 ●別科授業 アンケート調査 開始	26	27	28	29
●12月の日中学院 ・6日…公開講座 ・7日…本科入学試験 ・13日…公開講座		・14日…教職員全体会議・忘年会 ・19日…日本語科2学期授業最終日 ・20日…本科2学期授業最終日		・22日…別科授業231期授業最終日 ・25日…事務局仕事納め閉門～1/5 ・26～29日…教職員旅行		

## ■寄贈

下記の方より、図書室に寄贈がありました。ありがとうございました。

### ◎坂口智子様より

『中国からの留学生・ニッポン見たまま感じたまま』ほか

### ◎黄綿史様より

《紅樓夢》(越劇) VCD 30片装ほか

### ◎江尻健二様より

『東史郎日記』

『南京事件』

『731・南京虐殺等損害賠償請求事件「訴状」』ほか多数

## ■耳目

●ラウンジの書棚に『チベット問題とは何か』(大西広著 かもが出版)があり、自由に閲覧できます。小海(別科)同学の寄贈です。いわゆる「人権」問題としての視点ではなく、経済問題の反映としてとらえたものです。

## ●校友会よりバスハイクのご報告

く江ノ島> 9月27日(土)、曇り時々晴れ。絶好の行楽日和の中、校友会主催のバスハイクは実施されました。11名の日本語科生と15名の校友会メンバー(内、1名は日本語科卒業生)は、しらす井&江ノ島井に舌鼓をうち、江ノ島アイランドスパで楽しいひと時を過ごしました。



江ノ島アイランドスパ前

●委託講座 日中学院では、官公庁からの委託講座、企業への講師の派

遣、個人レッスンなどのご要望にお応えしています。

●本科研究科では中国人留学生を募集しています。日中通訳技術、日本語能力向上を目指す方の応募をお待ちしています。詳細は事務局までお問い合わせください。

### ●発音復習講座<栗田厚司講師>

・11月1日～11月29日(全5回)

・土曜日10時～12時

・受講料15000円

### ●無料公開講座<12月分>

①12月6日(土)13時～15時

②12月13日(土)13時～15時

●訃報 10月14日、桜井希実子先生のご尊父(享年77)が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

●お詫び 10月号訃報中、お名前、透を徹と訂正し、お詫びいたします。